



# 体験型河川堤防等実習施設

《令和3年度河川講習会の様子》

東北技術事務所では、河川全体の技術力底上げ、人材育成を図り、実用技術の追求を目的とした《体験型河川堤防等実習施設》を整備し、河川講習会を実施しています。

## 実物大の臨場感で「河川」の点検技術を学んでみませんか。

### 習得技術

施設利用者によって、習得可能な技術を「産・学・官」毎に一部紹介します。  
どなた（一般の方含む）でも、無料で体験可能です。

### 講習内容

対象者	技術習得等
産 (民間企業)	河川技術・情報の重点ポイント、入手手段に関わる情報収集事例（好事例、不具合事例）に基づく現場対処方法 計測技術・判断指標の捉え方等の技術基準 河川管理者の施工管理（品質、安全等）視点について
学 (学校関係)	河川全般に関わる基礎技術 現場管理、品質管理等に関わる情報収集
官 (河川管理者)	評価区分等、判断に関する見極め 現場に直結した品質・施工管理（重点ポイント） 平時の備え、有事の対応等、求められる対処に関する情報収集 各河川管理者相互における情報共有等（国・県・市等の現状把握）

### 1. 座学（30分）

- ・背景、課題
- ・点検の流れ

### 2. 現地実習（120分）

- ・河川施設の変状
- ・点検実施、結果の評価
- ・対策工の実施 等

### 3. 意見交換（30分）

- ・課題等の情報共有、意見交換

多様な経験が可能！

### 習得技術【産（民間企業）】



重点ポイント：直接対話による指導



不具合箇所毎に補足説明を実施



計測技術は重要部分を現地で実技指導



打音調査

ゆるみ確認



# 体験型河川堤防等実習施設

## 《令和3年度河川講習会の様子》

### 習得技術【学（学校関係）】

※写真は他の河川講習会のものを引用しています。イメージとしてください。  
(R3は新型コロナウイルス感染拡大の影響から、学に対する講習会は実施していません。)



河川点検技術の基礎技術習得可能 河川の点検における計測体験が可能 コンクリート供試体による体験（打音調査、クラック幅測定）が可能

### 習得技術【官（河川管理者）】



実践に即した計測技術指導



不具合事象紹介

陥没



日常点検の視点を技術指導

現場に直結し実践に活用出来る計測技術、評価・判断に関する見極め等を直接技術指導が可能です。

平時の備え、有事の対応等、状況、適材適所に即した視点での技術伝承が可能です。



計測結果から評価に対する情報共有



実事例紹介、発生メカニズム解説



河川管理者相互における情報共有

河川管理者相互の情報共有が可能で河川管理の重要性等への“気づき”に繋がり河川全体の技術力底上げ、人材育成を支援します。



# 体験型河川堤防等実習施設

## 《令和3年度河川講習会の様子》

申込日：令和 年 月 日

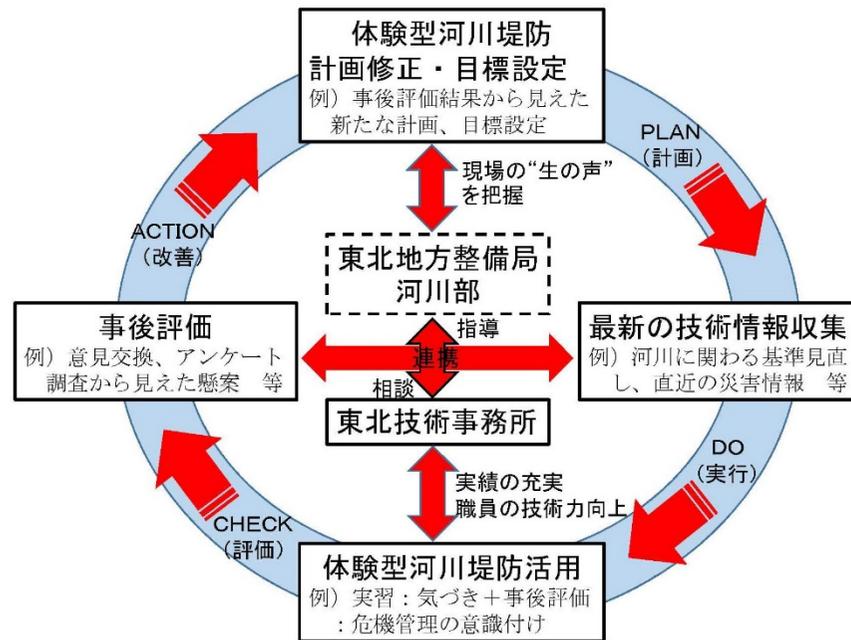
東北技術事務所

### 体験型河川堤防利用申込書

利用者の技術レベル、河川ニーズを把握したうえで、利用者が求めるテーマ（項目）を主体として説明を行います。

そのため、講習内容がその都度変わることから、全く同じ講習会は存在しません。

### ○期待される効果



### 「リサイクル型\_体験型河川堤防等施設のイメージ」

いつでも河川堤防等の変状や損傷を現実的に体験できる施設（無料）です。

積極的な利用と忌憚の無いご意見を頂くことによって効果的・実用的な施設になります。

**是非、一度体験下さい。**

団体名		
代表者	氏名：	
	住所：	
利用目的		
希望日時	※毎週「木曜日」の午前(9:00～)、午後(1:30～)の範囲内でご記入ください。 ※1講習会は、座学(1時間、意見交換等含む)、現地実習(2時間)を基本として開催します。 ※最終利用開始可能時刻は、午後2:00となります。 但し、公共交通機関等の利用などにより、利用時刻を変更したい場合等はお気軽にご相談ください。	
	令和 年 月 日 (水)	時間帯： ～
重点的に講習の説明を求めたい項目があれば <input type="checkbox"/> に塗りつぶし(入力)してください。		
<input type="checkbox"/> 堤防の状態監視について		
<input type="checkbox"/> 河川施設の変状について		
<input type="checkbox"/> 点検実施について		
<input type="checkbox"/> 点検結果の評価について		
<input type="checkbox"/> 対策工(本復旧、応急復旧)実施について		
<input type="checkbox"/> その他 (希望内容を記載下さい。)		
( )		
(予備日の希望) ※記入は任意	令和 年 月 日 (水)	時間帯： ～
参加予定人数	名 (うち 随行者 名)	
管轄の河川ニーズについて	日頃から河川管理を行っているなかで抱えている課題等を教えて下さい。(記載内容に応じて可能な限り、講習内容に含める予定です。)	
参加者の技術レベル等	※参加者の土木技術に関する「経験年数」や「職種」、施設利用の「目的・理由」などを記入してください。	
申込者連絡先	氏名：	
	メールアドレス：	
	携帯電話：	

### 【利用申込書】